



シアターX_{カイ} 提携公演

有馬銅鑼魔 No.52

ガ・夕ニガキ

谷崎潤一郎 作

構成・演出 有馬真胤

「母を恋うる記」

私：有馬真胤

鳥追いの女：エイコ

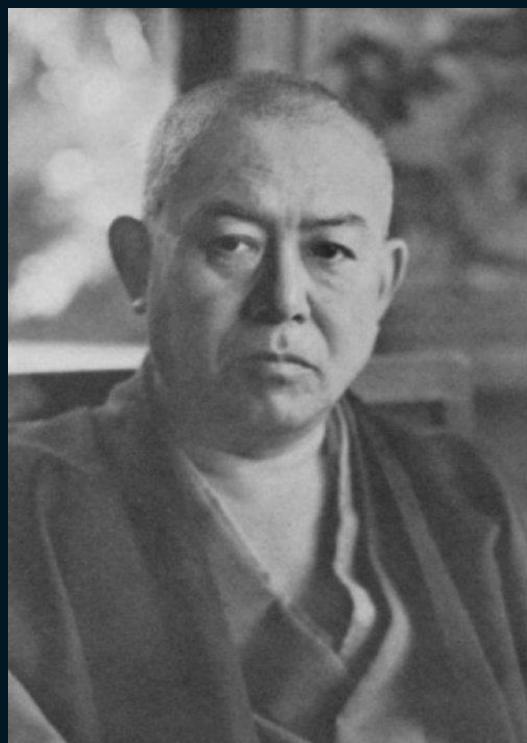
「刺青」

語り：宇佐美雅司

日時：2024年12月15日（日）

開演時間：15時（開場30分前）

入場料金：3,000円



協力：鳥居慎吾（アトリエ・シャノアールトリイ）、川村和央 メイクアップ：野口文代

劇場 東京・両国 シアターX_{カイ}

チケットご予約・お問い合わせ：090-9209-0896

制作：有馬英子 チラシデザイン：Hinako

有馬HP：<http://arimamasatane.me>

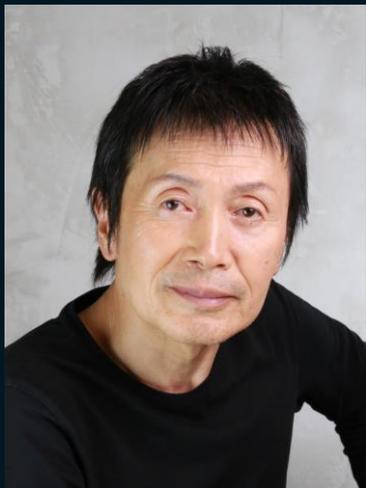
住所：〒130-0026

東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア1階

電話：03-5624-1181



JR 総武線両国駅西口下車、左へ徒歩約3分
都営地下鉄大江戸線両国駅A4・A5 出口徒歩約8分
両国駅西口を出て左に直進すると正面に回向院が見えます。
信号を渡り、シティコア1階。



有馬銅鑼魔50回記念公演を何とか無事に終えて半年間休みました。そして自分の中に新しい湧えが生まれるのを待ちました。今回上演する谷崎潤一郎「母を恋うる記」は私の心情ともリンクする、以前から気になっていた作品です。初めてエイコに芝居の中に登場してもらった冒険作です。私の中で期待と不安とが同居する野心作です。そして、今回シアターXカイを支える宇佐美さんに「刺青」を語って頂きます。彼は私がシアターXカイに出演するようになってからずっと気になっていた役者です。力を合わせて谷崎の流麗な文体とエロチシズムが満ちた世界に挑戦します。どうぞご期待下さい。

有馬真胤

眼に飛び込んでくる谷崎潤一郎の言葉のエネルギーに、圧倒されました。「読み物」として成立している言葉の数々を、どのように”語り”へと昇華出来るか、名だたる演劇創造の場で今尚御活躍の有馬真胤さん、その活動を支えてこられたエイコさん、お二人の背中を追いかけて”挑戦”したいと思います。

宇佐美雅司



芝居は別役実「場所と思い出」F・アラバール「迷路」に出演させて頂きましたが、今回の作品は主人公との対話、それも夢の中の会話です。作家、谷崎潤一郎の選り抜かれた言葉をどの様に表現するか、私には大変な挑戦かも知れませんが、楽しみたいと思います。

エイコ